

ここに注目！ 地域 NPO 等と連携し、幅広い世代を巻き込んだコミュニティの再構築



ポイント

交流拠点である映画館「横川シネマ」の機能強化、空き店舗を活用したアート及びスポーツ活動支援等を実施。幅広い世代を巻き込んだコミュニティの形成・再構築により、商店街の回遊性向上と利用者の増加につなげる。

【現状分析及び課題抽出】

Plan

環境変化に対応した商店街のあるべき姿、地域の持続的発展を目指して

商店街利用者の減少や、経営者・地域住民の高齢化から将来の街のあり方に不安と課題を抱える中、商店街の持続的発展には、地域が真に求める商店街のあるべき姿と課題を明確にし、コミュニティの担い手としての機能を十分に発揮することが必要と捉え、地元住民等にニーズ調査を実施したところ、文化・スポーツ等の発表や地域住民の交流促進、地域活動を行う場を望む声が多く寄せられた。このことから、地域住民が日常的に出会い交流できる場の提供と、商店街の特色を活かした賑わい創出により、幅広い世代を巻き込んだコミュニティの形成・再構築を図り、地域の利便性・魅力と集客力向上につなげることが重要と位置付けた。

【対応策の優位性】

Do

スポーツ・アート横川のイメージ強化による賑わい創出と交流促進

取組の質と実効性向上を目的に、地域商店街活性化法に基づく活性化計画を策定。これに基づき地域のシンボルである映画館「横川シネマ」を映像配信の他、様々なサークル活動・スポーツイベント等での多目的利用、地域住民の休憩・交流の場として整備した。また、商店街ビルの一室及び空き店舗をギャラリーやアート教室等のレンタルスペースとして整備・活用している。あわせて要望の高かったスポーツ・アート等による賑わい活動に、地域団体と連携して取り組み、商

基本データ

横川商店街振興組合

所在地：広島県広島市西区横川町

人口：約 19 万人（広島市西区）

会員数：68 名

店舗数：181 店舗（買回品小売店 29、最寄品小売店 39、飲食店 63、サービス店 33、その他 17）

商店街の類型：地域型商店街

主な客層：会社員、主婦、高齢者

関連 URL：<http://e-yokogawa.net/>

商店街概要

横川地区は明治以降広島市都心部と周辺地域をつなぐ物資供給拠点としての役割を果たしてきた。昭和 39 年に商店街振興組合を設立。その後、近隣への大型店進出や地元町工場の相次ぐ閉鎖等、経営環境の悪化と地盤沈下に直面したが、商店街の意欲的な活動と、近隣住民との強い結束のもと地域の活性化に取り組んできた。現在も、地域を代表するイベント「横川ふしぎ市」や、NPO やアーティスト等と連携した「商店街劇場」、サッカーのパブリックビューイングアート等、積極的な取組を行っている。



横川駅前の立地（左）、「横川シネマ」の開催（右）

店街の認知度向上と多様な出会い・交流の充実につなげ、地域の活性化に貢献している。

【効果の評価及び改善策】

Check-Action

街の担い手と商店街ファンの獲得

映画館やギャラリー等の施設は、地域の利便性・魅力向上に加えて、スポーツ・アートをキーワードとし

た商店街を特徴づける分野でのイメージ強化と、商店街のファン獲得につながっている。また、活性化計画の策定・実施にあたり、社会福祉協議会、NPO等の地域組織・個人との関係強化を図り、市民の応援団としての参加を促す事で、多様な街の担い手の登場につながっており、地域の継続的発展に寄与している。

効果測定については、通行量調査や売上高把握に加え、施設内に利用者アンケートを常設することで日常的にニーズ把握を行い、日々の運営改善に活かしていくこととしている。

【実施体制等】

商店街・NPO・アーティスト 地域一体の関与と多様な連携

各事業に組合理事の中から責任者及び補佐を任命し、役割分担と責任を明確にして連絡・調整を行うほか、青年部、女性の会が運営の中心として関わっている。

また、NPO 法人広島横川スポーツカルチャー・クラブ、横川創荘及び地域の関係団体と連携し、企画・運営に参加・協力を得て事業を進めており、地域住民のニーズ把握と、日々運営の改善を図っている。

その他、市及び県中小企業団体中央会の担当者が事業検討会議等に適時参加して、助言を行うなど、事業内容と効果向上を図っている。



地域と連携したスポーツ・アート等による賑わい活動の取組



キーパーソン

横川商店街振興組合

理事長

村上 正 (左)

副理事長

高津 明伸 (右)

連携と協働

昭和 40 年代初頭までかなり賑わっていた商店街も、郊外の大型ショッピングセンターの影響等から徐々に衰退し、商店街全体が重苦しい雰囲気包まれていきました。そんな 1990 年代半ば、「地域の発展なくして商店街の将来もない。元気のきっかけとなる地域イベントを起こそう」となり、その際に行政や支援機関の方々から「地域の人達と共催した方が良いですよ。」と頂いたアドバイスが、今にして思えば大変貴重なものとなりました。以来 20 年間、地域諸団体とごちなく始まった共催イベントも、今や毎年春の地域最大のイベント『横川ふしぎ市』として育ち、今では強いパートナーシップのもとに処々の地域活性化などに一緒に取り組んでいます。

出会い・交流 街の担い手の創出

地域と連携・協働した取組を進めようとの気運が

高まる中、ボランティア市民の呼掛けで地域の人々と共に立ちあげた活性化勉強会を母体として 2011 年に NPO 法人広島横川スポーツカルチャー・クラブを設立、地域資産を活かした活性化を模索し、スポーツ・アート等をテーマに、現在もそのメンバーが手分けして活性化に取り組んでいます。

広島県女子サッカー協会からの呼掛けで、トップリーグ入りを目指す女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」をNPOが主体となり立ち上げ、組合員が選手の雇用や活動支援を行うなど、まさに地域一体で支えるこのチームは、現在はトップリーグ直下のリーグにたどり着くなど順調にその歩みを進めています。

「アート」では商店街内にアトリエを設け、現在 3 名の若者が創作活動の拠点として活動しています。このメンバーを含め内外のアーティストが企画・実施する「横川商店街劇場」は地域の新たな祭りとして、アーティストと共に育っています。

これまで活性化を願って色々なイベントに取り組み、一夜限りの賑わいに終わる徒労感を散々味わってきました。でも視野を広げれば、当商店街で自立を図れる人達の存在があり、彼らを仲間として受け入れて共にこの街を磨いてゆこうと考えるようになりました。

魅力ある個店や商店街づくりはもちろん、需要が多様化している現在、業種を問わず“この地に根を下ろし自立を求めて頑張れる仲間”を増やし、手を携えていくことで活性化を図れるのではないのでしょうか？ローカルな駅前商店街ですが、街に根を下ろして活動してくれる仲間を増やしていくことで“元気でユニークな下町商店街”であり続けたいと考えています。